

II 普及活動

1 美術講演・講座

講演講座を実施することにより、美術に対する理解を深め、教育普及に資するとともに展示事業の広報にも役立て、県民の美術への親しみや関心を高める。

(1) 講演会

開催日	会場	講演名	講師	内容	参加人数
2022(令和4)年 11月5日	アルス ホール	モナ・リザの教科書～ARTの原義と三つの謎から～	渡邊晃一 (福島大学人間発達文化学類教授)	本講演会では「モナ・リザの教科書」(渡邊晃一著、日本文教出版)をもとに、近年に解明された《モナ・リザ》の描かれたイメージ(モデルは誰か)、絵画材料と制作技法の謎を、ARTの原義と重ねながら著者が解説した。	60
合計					60

(2) 土曜講座

開催日	会場	講演名	担当	内容	参加人数
2022(令和4)年 5月21日	アルス ホール	箱根・芦ノ湖 成川美術館コレクション展について	井野功一 (茨城県天心記念五浦美術館首席学芸員)	箱根の成川美術館が誇る4000点余りの日本画コレクションから「花」をテーマに作品を精選して展示した、五浦美術館の春の展覧会の出品作家、作品について紹介した。	34
6月11日	アルス ホール	木内克について	乾健一 (茨城県近代美術館学芸員)	テラコッタやブロンズによる大らかな作風の女性像で知られている水戸市出身の彫刻家・木内克(1892-1977)が生誕130年を迎えるのを機に、木内の作品とその生涯を振り返った。	29
7月16日	アルス ホール	井上雅之、その造形と歩み	芦刈歩 (茨城県陶芸美術館学芸員)	従来の焼き物のあり方にとらわれない自由な発想でファインアートと陶芸の垣根を跳び越えて活躍する作家、井上雅之の造形の歩みを俯瞰し、最新の動向を紹介した。	16
8月27日	アルス ホール	どっちがどっち? いわいとしお×岩井俊雄 - 『100かいだてのいえ』とメディアアートの世界-	吉田衣里 (茨城県近代美術館首席学芸員)	子どもたちに大人気の絵本作家・いわいとしお。作品を見る人の驚きや喜びを追求し、人間とテクノロジーの関係を見つめるメディアアーティスト・岩井俊雄。一見すると別人格に見える作家の創作の源泉はどこにあるのか。その人物像に迫った。	35
9月10日	アルス ホール	大日堂障壁画について	中田智則 (茨城県天心記念五浦美術館企画普及課長)	「仏画の武山」と称された笠間出身の木村武山。昭和10年母の供養のために笠間の自邸内に建立された大日堂は、堂内が自筆による仏画で荘厳されている。大日堂障壁画を中心に、武山仏画の魅力を紹介した。	46

開催日	会場	講演名	担当	内容	参加人数
10月8日	アルスホール	笠間焼250年記念 欲しいがみつかる うつわ展Ⅱについて	岩井基生 (茨城県陶芸美術館 主任学芸主事)	「生活のうつわ」をテーマにした 展覧会(平成30年開催)の 第2弾の企画展。第1弾で 紹介した作家に加え、新たな 作家にも着目し、笠間と益子 を拠点に活動する作家の作 品より、両やきもの産地の 「今」を見つめた。	43
11月12日	アルスホール	再興院展の立役者 齋藤隆三について	塩田稔雄 (茨城県天心記念五 浦美術館学芸員)	齋藤隆三は茨城県守谷市 出身の歴史家で、大正3年 の日本美術院再興に携わる など、院の活動を大きく支 えた。本講座では、企画展 「再興院展の立役者 齋藤 隆三」の内容とともに、齋藤 隆三の業績を紹介した。	33
12月10日	アルスホール	板谷波山 卓越 した作品とその 生涯	飯田将吾 (茨城県陶芸美術館 主任学芸員)	板谷波山(1872-1963) は茨城県下館町(現筑西市) 出身の陶芸家で、今年で生 誕150年を迎えた。彼の優 れた業績と日本の近代陶芸 に果たした大きな役割につ いて、代表作の紹介を交え ながら紹介した。	66
2023(令和5)年 1月14日	アルスホール	戦後日本版画の 展開	永宮勤士 (茨城県近代美術館 主任学芸員)	県内のコレクター・照沼毅 陽氏から寄贈いただいた版 画コレクションを中心に構 成する企画展を紹介しなが ら、美術の発展とともに多 様化してきた戦後日本の版 画の流れを紹介した。	25
2月11日	アルスホール	カメラを手にし た八木一夫	花里麻理 (茨城県陶芸美術館 学芸課長)	「オブジェ焼」で知られる 八木一夫(1918-1979)は、 前衛作陶家集団「走泥社」 を率いて戦後の陶芸の表現 領域を広げたカリスマ陶芸 家。近年の調査で発見され た自身撮影のスナップショ ットの数々を通して「知ら れざる八木一夫」を紹介し た。	38
3月11日	アルスホール	速水御舟	澤渡麻里 (茨城県近代美術館 首席学芸員)	近代日本画の流れを牽引し 続けた速水御舟(1894-1935) 。大正期の細密描写による 写実表現から古典的な絵画 理念への回帰を経て、後期 の平面性と装飾性へと至る 御舟の画風の変遷やその魅 力について紹介した。	77
合計					442

(3) ビデオ鑑賞会

開催日	会場	鑑賞会名	タイトル	参加人数
2022(令和4)年 5月28日	講座室	ループル・美の回廊①	古代エジプト幻想 メソポタミアの祈り ビーナス誕生	16
6月25日	講座室	ループル・美の回廊②	古代ローマの肖像 中世の面影 ルネサンスとレオナルド	10

開催日	会場	鑑賞会名	タイトル	参加人数
7月23日	講座室	ルーブル・美の回廊③	北方ルネサンスのきらめき 花の盛期ルネサンス スペイン絵画の光と影	12
8月27日	講座室	ルーブル・美の回廊④	ルーベンスとレンブラント 太陽王の世紀 魅惑のロココ	12
9月24日	講座室	ルーブル・美の回廊⑤ ／手塚治虫の世界①	ロマン派宣言 「鉄腕アトム」の発見 「火の鳥」の発見	15
10月22日	講座室	世界・美の旅①	ルノワール ～世紀末の女たち～ ゴーギャン ～野性へのあこがれ～ ミレー ～種まく人は今～	12
11月26日	講座室	世界・美の旅②	ルーベンス ～ネロの愛したルーベンス～ フェルメール ～静寂のフェルメール～ ブリューゲル ～風景画にひそむ寓意～	12
12月17日	講座室	世界・美の旅③	ロートレック ～世紀末の目撃者～ マリー・ローランサン ～私は贅沢が好き～ モディリアアーニ ～瞳のない肖像画～	14
2023(令和5)年 1月28日	講座室	世界・美の旅④	ボッティチェリ ～フィレンツェのヴィーナス～ ティツィアーノ ～ヴェネチアの巨匠～ レンブラント ～光と影の自画像～	15
2月25日	講座室	名画の秘密①	ルネサンスの巨匠 ～レオナルド・ダ・ヴィンチ、ミケランジェロ、ラファエロ～ 魅惑のスペイン ～ベラスケス、ゴヤ、ガウディ、ピカソ～	16
3月18日	講座室	名画の秘密②	世紀末からのメッセージ ～ギュスターブ・モロー、クリムト～ 宿命の女とラファエル前派 ～ロセッティ、ミレイ～ 北の画家 神秘の世界 ～ムンク、エミール・ノルデ～	16
合計				150

(4) ワークショップ

開催日	会場	講座名	講師	内容	参加人数
2022(令和4)年 5月14日	講座室	「音の出る楽器ペロミンをつくろう！」	土佐信道 (明和電機)	小学4～6年生を対象に、「ペロロン」と面白い音がする楽器、ペロミンを制作した。	20
7月17日	講座室	「石ころ絵画ワークショップ」	横田次男(主査)	幼児・小学生を対象に、石ころの形に合わせて想像しながら絵を描いた。	34
8月20日	講座室	「手染めで自分だけのオリジナルトートバッグをつくろう！」	倉持英夫(主査)	小学生(4年生以上)を対象に、はんこスタンプ・板染め技法を使って2種類のオリジナルトートバッグを制作した。	20
10月15日	講座室	「藍染めで、自分だけのシルクスカーフとミニバッグを作ろう」	荒木郁子(主査)	18歳以上を対象に、板締絞りや巻き上げ絞りなど好きな技法を選択し、シルクスカーフとミニバッグを制作した。	15
合計					89

(5) イベント(ギャラリー利用者による展示室でのギャラリートークなど)

開催日	会場	展覧会名	内容	講師	参加人数
2022(令和4)年 5月3日、14日、 15日、21日、22日	展示室	明和電機ナンセンスファクト リー展inつくば	サイン会	土佐信道 (明和電機)	—
5月3日、14日、 15日、21日、22日	展示室	明和電機ナンセンスファクト リー展inつくば	製品説明会	土佐信道 (明和電機)	—
5月21日	講座室	明和電機ナンセンスファクト リー展inつくば	「音の出る楽器ペロ ミンをつくろう！」 ワークショップ	土佐信道 (明和電機)	20
6月12日	展示室	アートウェーブつくば第27回 展	ギャラリートーク	渡邊晃一 (福島大学人間発 達文化学類/文学・ 芸術学系教授)	30
6月28日	展示室	令和4年度茨城県移動展覧会 「茨城の美術セレクション」	ギャラリートーク (無観客・会期終了 後、動画をYouTube にて公開)	出品者、他	—
7月12日	展示室	日中韓芸術展	展覧会開会式	出品者、他	38
7月30日、31日	展示室	モモイパンフラワー2022	ミニライブを開催	地域密着ケンニ イ・上郷中央囃 子会	149
8月16日	講座室	第9回アール・パレ つくば アール・パレ展	シンポジウムの上 映会	出品者、他	—
10月18日	展示室	つくばビエンナーレ 「周縁の美学」展	オープニングセレ モニー	出品者、他	33
11月15日、19日 20日	展示室	第38回MC展 筑波大学大学院 人間総合科学学術院人間総合 科学研究群芸術学学位プログ ラム(博士前期課程) 洋画・ 版画・日本画 作品展	ギャラリートーク・ 講評会等	出品者	69
12月20日	展示室	筑波大学退任記念展 太田圭 日本画展 星のように急が ず、しかし休まず	ギャラリートーク	太田圭(筑波大学 芸術系教授)	31
2023(令和5)年 2月18日	展示室	令和4年度卒業制作展 筑波 大学芸術専門学群卒業制作展	ギャラリートーク	出品者	80
3月18日	展示室	筑波大学教授退職記念 内藤 定壽絵画作品展	ギャラリートーク	内藤定壽(筑波大 学芸術系教授)	83
合計					533

(6) その他(茨城県つくば美術館主催の展覧会など)

会期	展覧会名	展示内容	入場者数
2022(令和4)年 8月9日(火)～ 8月14日(日)	世界の名作 複製画展 (ボストン美術館を中心 としたアメリカの美術館 編) ー茨城県近代美術館所蔵 複製画よりー	本館である茨城県近代美術館が教育普及教材として 保有している世界の名画の複製画を紹介した。ボス トン美術館所蔵作品10点と、その他5点を加えて展 示した。	724
9月13日(火)～ 10月2日(日)	日本画のみかた ー材料と表装のいろはー 茨城県近代美術館所蔵資 料・天心記念五浦美術館 日本画トランクより	茨城県近代美術館アートフォーラムで展示された日 本画の画材や、天心記念五浦美術館の教育普及教材 である日本画トランクを紹介した。	1,894
合計			2,618

2 お絵かき・美術図書ライブラリー（講座室）

「美術図書ライブラリー」では、当館が所蔵する県内の県立美術館や全国の美術館図録を誰でも自由に閲覧できる。また、子供たちも一緒に楽しめる幼児や小学生用の画集、絵本、図工書を備えた書架があり、それらを参考に自由にお絵かきができるブースを設置している。その他に、職員で作成した塗り絵があり、子どもを中心とした多くの人に利用されている。

総利用者数 60人

3 ホームページ(<https://www.tsukuba.museum.ibk.ed.jp/>)

●概要

美術館利用者の利便を図り、美術館の情報を発信することを目的としてホームページを作成し、展覧会やイベント案内、ギャラリー等の利用案内に関する情報発信を行っている。作成は職員が行っており、毎週内容を更新するとともに、必要に応じて情報を発信している。

●ページ構成(令和5年3月現在)

- ①トップページ
 - ・美術館からのお知らせ
 - ・展覧会のお知らせ
 - ・今後の展覧会のお知らせ
 - ・イベント情報
 - ・おうちで遊ぼう！つくぞうぬりえ
- ②ギャラリー
- ③スケジュール
- ④展示室利用案内
- ⑤土曜講座
- ⑥ビデオ鑑賞会
- ⑦美術講座・ワークショップ
- ⑧その他の展覧会
- ⑨施設紹介
- ⑩利用案内・地図
- ⑪過去の企画展
- ⑫つくぞう&つくみの部屋
- ⑬お問い合わせ

●関連リンク

つくば美術館公式Twitter
 いばらきの美術館・博物館
 いばらきチャットボット 県立美術館

●アクセス数 42,948件

4 メールニュース

美術館の展示内容を紹介するニュースレターを、展覧会ごとに希望者に配信している。ホームページの美術館からのお知らせ欄から申し込みを受け付けている。令和5年3月現在、50名に配信している。

5 広報活動一覧

各種広告媒体を活用し、美術館及び美術館活動に対する理解を深めるとともに、来館者からの意見・要望を広く聴取し、美術館運営の参考とした。

区分	内容	参考
印刷広報	・2022年度展示予定表	A4(巻三つ折)：15,000部
県広報媒体利用による広報	・県教職員広報誌「教育いばらき」 ・県広報紙「ひばり」	県内各学校及び全教職員を対象に配布 新聞折込(全戸配布)
報道機関等への情報提供	・記者クラブ、支局等への資料提供 ・取材協力、中継協力	・ギャラリー関連 (茨城新聞 2022(令和4)年3月10日付) (茨城新聞 3月17日付) (茨城新聞 4月15日付) (読売新聞 4月23日付) (茨城新聞 5月4日付) (東京新聞 5月21日付) (茨城新聞 5月28日付) (茨城新聞 6月5日付) (茨城新聞 6月19日付) (茨城新聞 7月18日付) (読売新聞 7月22日付) (茨城新聞 8月6日付) (東京新聞 8月26日付) (朝日新聞 9月9日付) (朝日新聞/読売新聞 9月26日付) (茨城新聞 9月28日付) (読売新聞 11月11日付) (茨城新聞 2023(令和5)年2月2日付) (読売新聞 3月10日付) (茨城新聞 3月15日付) (東京新聞 3月17日付)
報道機関等への情報提供	・記者クラブ、支局等への資料提供 ・取材協力、中継協力	・土曜講座関連 (茨城新聞 2022(令和4)年5月15日付) (読売新聞 6月10日付) (茨城新聞 7月14日付) (読売新聞 7月29日付) (茨城新聞 9月1日付) (読売新聞 9月17日付) (茨城新聞 11月8日付) (茨城新聞 12月6日付) (茨城新聞 2023(令和5)年1月11日付) (読売新聞 2月3日付) (茨城新聞 2月3日付) (茨城新聞 3月11日付) ・美術講演会関連 (茨城新聞 10月23日付) (読売新聞 10月28日付)
出版社等への情報提供	・資料提供	<主な掲載紙> ・常陽リビング ・常陽藝文 ・新美術新聞 <主な掲載紙> ・美術の窓 ・月刊美術

6 広報印刷物

- ・展示予定表 2023(令和5)年3月
- ・美術講演会チラシ 2022(令和4)年11月
- ・「石ころ絵画WS」チラシ 2022(令和4)年7月
- ・「手染めで自分だけのオリジナルトートバッグをつくろう! WS」チラシ 2022(令和4)年8月
- ・「藍染めで、自分だけのシルクスカーフとミニバッグを作ろうWS」チラシ 2022(令和4)年10月
- ・「世界の名作 複製画展(ボストン美術館を中心としたアメリカの美術館編) -茨城県近代美術館所蔵複製画より-」チラシ 2022(令和4)年8月
- ・「日本画のみかた -材料と表装のいろは- 茨城県近代美術館所蔵資料・天心記念五浦美術館日本画トランクより」チラシ 2022(令和4)年9月



展示予定表



美術講演会チラシ



「石ころ絵画WS」チラシ



「手染めで自分だけのオリジナルトートバッグをつくろう! WS」チラシ



「藍染めで、自分だけのシルクスカーフとミニバッグを作ろうWS」チラシ



「世界の名作 複製画展」チラシ



「日本画のみかた」チラシ